

第3回ほこみち長崎未来ワークショップを開催しました

1

国道34号長崎市桜町～万才町の区間（約749m）が歩行者利便増進道路（通称：ほこみち）に指定されたことを踏まえ、国道34号周辺（岬のエリア）の活用方法について、地域の皆様と共に考えていくための、「第3回ほこみち長崎未来ワークショップ」を開催しました。

【日 時】 令和6年12月23日(月) 18:30～20:30

【場 所】 長崎商工会議所 2階ホール

【参加人数】 20名

主な内容

①これまでの振り返り

“ほこみち未来長崎検討委員会”の委員である岩本論氏及び平山広孝氏より、ほこみち制度の概要や、これまで実施したシンポジウム・ワークショップの内容、他都市の事例について説明を行いました。

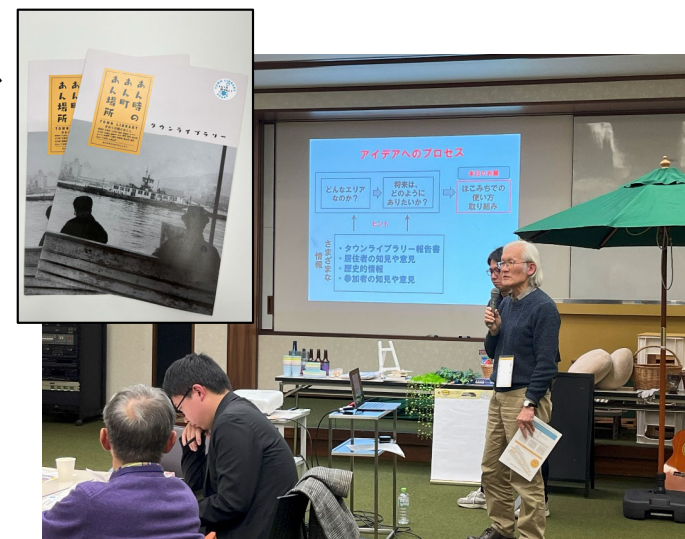
あわせて、これまでのワークショップの意見を踏まえて検討委員会にて策定した”通りのコンセプト（素案）”である「歴史を生かし新たな文化を創造する、季節感じるシンボルストリート～長崎四季快道～」を紹介しました。

②「タウンライブラリー」報告書の紹介

かつての暮らしや人々の営みなど、目に見えない記憶を集めることにより、まちの根源にある魅力を探っていくことを目的として活動されている安元哲男氏より、岬のエリアを中心としたこれまでの活動成果を取りまとめた「タウンライブラリー」の報告書を紹介いただきました。



▲これまでの振り返り（岩本氏、平山氏）



▲安元氏による紹介（左上：報告書）

③ワークショップ

テーマ：国道34号での使い方のアイデア

- これまでのワークショップでの議論を踏まえ、ほこみちにおける具体的な道路空間の活用アイデアを意見交換するとともに、やってみたいことを会場で実演しました。
- 現在の道路空間を再配分することにより創出される「利便増進区域（道路占用の柔軟性が配慮され、道路上にテーブルやいす等を設置し、滞留空間を創出することが可能となる空間）」の幅員を会場に再現し、テント、いす、テーブルなど様々な実験道具を使い、各班で活用のアイデアを実演しました。
- 路上でのライブや寄席、コーヒーの提供といった活用や、木陰でゆっくりくつろげるスペースとしての活用、時間や場所にとらわれないワークスペース等の日常利用といった、様々なアイデアが挙げられました。
- また、ワークショップ参加者の声として、「いろいろな視点の意見を聞くことができ、どんな道になるのかわくわくした」、「実際に道具をセッティングすることで、具体的にイメージすることができ、道の幅も体感できた」などが寄せられました。



▲ワークショップ風景

各班のアイデア

A班

- ・アイデア：時間・場所にとらわれない日常利用スペース
- ・仮眠ができる半個室空間を設置。
- ・24時間利用できるワークスペースの設置。
- ・国道沿いで交通量があることを逆手にとり、軽い会話やBGMを流すこともできるような利用を想定。



B班

- ・アイデア：ストリートエンジョイスペース
- ・路上ライブや路上寄席の場としての活用。
- ・ライブを聞きながらお酒を飲む、沿道の店舗からテイクアウトして飲食をしながら楽しむ空間。
- ・楽しそうな雰囲気に惹かれて、通りを歩く人も思わず立ち止まるような空間が理想。



C班

- ・アイデア：コーヒースペース
- ・テントやカウンターを設置し、歩道上にコーヒーのテイクアウトスペースを設置。
- ・席を設けられるような空間もできるとな良い。
- ・その他のアイデアとして、地域の歴史を絡めたマーケットの開催。



D班

- ・アイデア：並木や木陰の下でゆったりくつろぐスペース
- ・特に夏場は暑いので、並木や木陰などの日陰があればよい。
- ・あえて物は多く設置せず、さまざまな使い方ができるような、汎用性のある空間が望ましい。
- ・イベント時の活用を想定し、電源やテント、のぼり（旗）の設置が容易にできるような歩道上の工夫があればよい。



今後もワークショップを開催する予定です。どなたでもご参加いただけますので、ぜひご参加ください。

（詳細は決まり次第、長崎河川国道事務所SNS等でお知らせします）

ほこみちの概要や、ほこみち長崎未来検討委員会の詳細についてはこちらをご覧ください。

長崎河川国道事務所ホームページ（ほこみち長崎未来検討委員会）

<https://www.qsr.mlit.go.jp/nagasaki/road/shisaku/hokomichi.html>